

## 免許外教科担任制度に関する全国中学校の状況

全日本中学校長会会長  
東京都豊島区立千登世橋中学校長  
山本 聖志

**1 免外に関する校長会での検討および議論の状況**

免外に関する状況は都道府県によって異なるため、これまで全日中として免外による教科指導者数の集計は行っていたが、意見をとりまとめたことはなかった。今回、各地区から寄せられた回答は、①免外の解消に向けて県教育委員会や議会に対し要望書を提出している ②特に検討していない ③今後、検討していく の3点に集約される。

講師や免外による対応を必要とするのは、教員定数が必要教科の数を下回る場合や実技教科をはじめ教員免許保有者が確保出来ない場合である。また、免外解消のため、複数免許保有者の採用（教科の掛け持ち）や複数校への配置（学校の掛け持ち）が行われているが、当該教員への負担は大きいという回答が目立った。

**2 免外を出している場合の事例や支援策****(1) 免外を出している場合の事例（一部）**

- ①小規模校が多く、地区内全校で免外を有するケースや1校で2～3教科の免外担任も珍しくない。（H道）
- ②家庭科97名、美術80名、技術65名の免外は、全国的にも上位に位置する。（A県）
- ③（政令市を除く）県下135校のうち116名の免外。特に技術・家庭が多い。（M県）
- ④220校中137校で免外。美術45名、技術77名、家庭90名。また、免外解消のための非常勤講師を67校に配置。音楽33名、美術36名、技術7名、家庭29名。（F県）
- ⑤6学級以下の学校には、家庭科の配置が原則としてないため、複数免許保有者や特別支援学級担任に家庭科免許保有者を充てるなどして対応している学校もある。こうした対応が出来ない学校では、免外で全学級を担当したり、学年を分けて2～3人で担当したりしながら授業にあたっている。（I県）
- ⑥29年度337件の免外（政令市を含む）。教員数の約6%に当たる。（S県）
- ⑦技術、家庭、美術の免許保有者が少なく、免外は、技術120件、家庭70件、美術63件、など合計330件にのぼる。（C件）

**(2) 免外許可を受けた者への支援策**

- ①県が3日間の研修を実施。初めて免外となる教員に対し県が研修を実施。
- ②教材研究の時間確保のため、校務分掌を軽減したり、授業時数を軽減したりしている。
- ③年間計画や参考資料を他校と共有したり、定期テスト作成に係る配慮を行ったりしている。
- ④担任をもたないことや持ち時数の調整（1, 2時間の減）を行っている。
- ⑤専門科教員からの助言やサポートを行っている。
- ⑥部活動の軽減。
- ⑦配慮や支援策は特になく、教頭が対応している例が多い。

**3 免外解消に向けて考えられる工夫等****(1) 免外解消に向けて考えられる工夫**

- ①教員定数増が第一。適正な教員配置、加配配置が求められる。
- ②小規模校における定数改善。
- ③定数外の加配措置による実技教科の複数校兼務。
- ④複数校兼務しか解消策はないが、居場所感（所属意識）で問題が生じる可能性がある。
- ⑤免許更新の際に、他免許を簡易的に取得出来るようにする。

- ⑥小規模校に必要な学校には、1日4時間、週2日勤務の非常勤講師を配置する。
- ⑦教科免許の統合（技術・家庭）などの方策も検討する余地あり。
- ⑧音楽、美術、技術・家庭を「芸術」として教えるなど、免許法等の変更も考えられる。
- ⑨センター校を設け、複数校を担当する方法もあるが、時間割の編成の難しさや教員の負担などの課題は残る。
- ⑩教科等を配慮し、定数の改善や弾力化を考えてもよいのではないか。
- ⑪大学との連携による複数免許の取得促進。また、現職中に免許が取得出来るような体制整備。
- ⑫採用計画の段階で十分に需給を精査し、教員の必要数を確保する。
- ⑬小中一貫校や併設校において、小の免許保有者が中の授業を担当している事例もある。
- ⑭サテライト授業の実施。
- ⑮退職者等を時間勤務（パート）で再雇用する。

## （2）免外解消が難しいと思われる事例

- ①6学級以下の学校では物理的に全教科の配置が難しい。
- ②教科の標準時数において実技教科の時数が減少している。また、学力向上の声に押されテスト・調査対象の教科の配置を望む声が現場にある。
- ③地方においては、教員採用数が少なく、免許取得者が減少傾向にある。特に、採用数の少ない音楽、美術、家庭においてその傾向が顕著である（毎年数名程度の採用）
- ④学級数によって教員定数が決まっているため、解消が難しい。
- ⑤技術、家庭の免許保有者の絶対数が不足している。
- ⑥山間部等では、学校間の距離が遠く、複数配置も難しい。
- ⑦複数配置の際、曜日・時間割の調整が必要だが、自治体をまたぐことが難しいため配置校が限られてしまう。
- ⑧兼任、兼務者の負担が大きい。
- ⑨本務校への影響や高齢化に伴う人材不足が課題。
- ⑩県の予算も限られており、採用人数の総数や教科担任の人数が限られてくるため、解消は難しい。
- ⑪国からの免外解消のための予算措置がない中、県が定数を崩して講師を増員すると他への影響が大きくなることを懸念。
- ⑫離島やへき地では、定数の関係で複数教科を担当せざるを得ない状況だが、臨時免許を取得させていて免許なしの割合は少ない。
- ⑬特に技術の絶対数が不足している。又、県内で技術の免許を取得出来る大学が限られているため、採用試験の際、確保が困難。臨時講師も不足している。 ※別添資料を参照。

## 4 その他

### （1）免外決定までのプロセス（〇県S市の例）

校長が教職員の担当時間数、学級担任の有無、部活動の状況を考慮しながら、過去の免許外教科の経験等を把握し、面談の上決定する。許可対象者は、主幹教諭、指導教諭、教諭（教頭が免許外教科の担任祖する場合は教諭に兼務発令後）で、免許外は一人2教科まで。許可は年度単位。

### （2）手続きのフロー（同）

- 3月15日頃 県教委 人事課長より通知 県事務所・市教委経由で学校に通知
- 4月初旬 校長が校内人事・分掌を決める際に面談等で決定。
- 4月初旬 氏名・学歴・教職年数・保有する免許状・申請教科・申請事由を明記、担当教諭の押印及び学校印押印の申請書を作成。添付書類として学級編成一覧表及び校長の理由書と合わせて市教委経由で県事務所や教育事務所に提出。
- 5月初旬 県教委 人事課で審査の上、決裁権者（各教育事務所長）の判断により決定。その後、教育職員免許法付則第二項の定めによる許可書が各学校に出される。（5月中旬頃）\*このフローは年度途中に人事異動により変更が生じた場合も申請可。

平成29年度 技術・家庭科 免許外・臨時免許等指導実態調査 集計結果

全日本中学校技術・家庭科研究会では、免許外・臨時免許指導実態調査の集計を行いました。その結果、地域や県によっては非常に深刻な状況にあることが数値的にも明確になりました。子どもたちに技術・家庭科の力を付ける授業を実施していくためには、教科の専門的知識や指導力を持った普通免許を所持した専任教員が必要であることを研究会として要請して参ります。

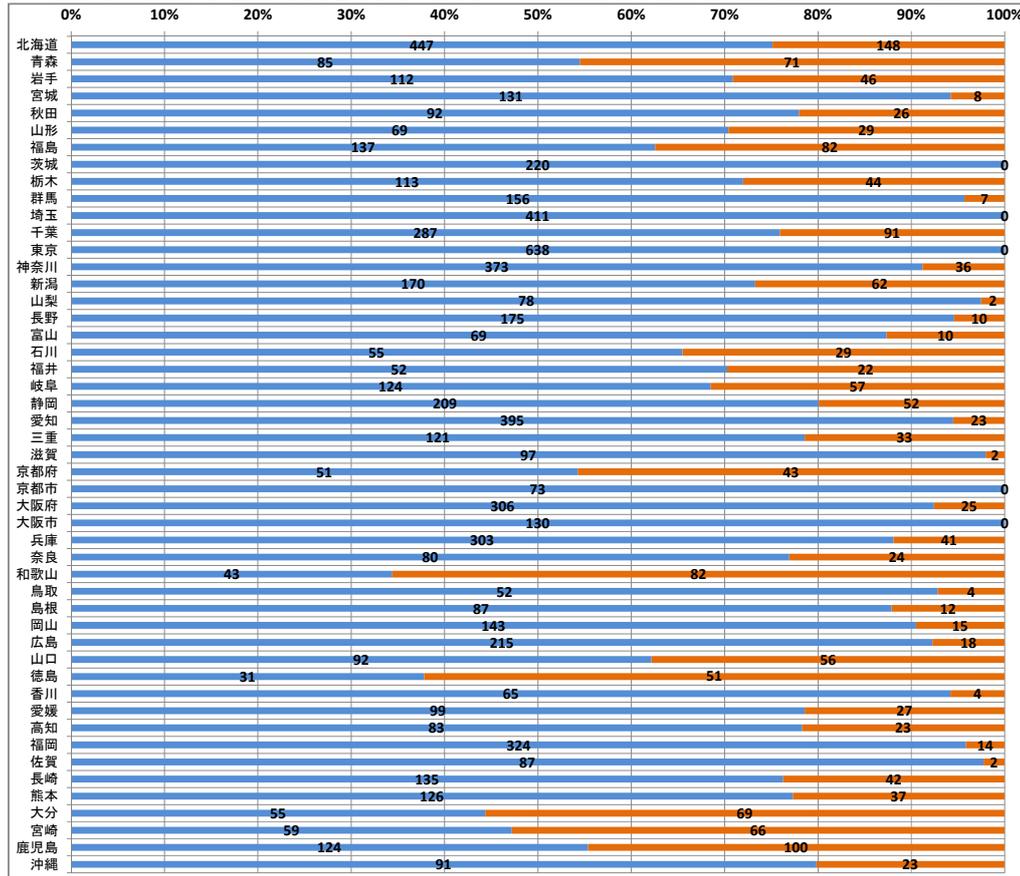
1 調査内容 \* 各学校の状況を 技術分野、家庭分野別に回答

質問①	技術分野、家庭分野の授業を行っている教員(講師等を含む)は何人ですか。 *1人の教員が技術と家庭両方の授業を行っている場合は、技術「1」、家庭「1」と記入。
質問②	上記①の内、技術、家庭科の普通免許を所持している教員は何人ですか。 *1人の教員が技術と家庭両方の普通免許を所持している場合は、技術「1」、家庭「1」と記入し、右端の欄にも「1」を記入する。
質問③	上記②の内、技術、家庭科の県の正規採用教員(市、県採用試験合格者)は何人ですか。 *1人の教員が技術と家庭、両方の免許を所持している場合は、どちらか一方に記入。
質問④	上記①の内、技術、家庭科の普通免許は所持していない(免許外、臨時免許等)が技術、家庭科の授業を担当している講師・臨時採用教員等(正規採用教員以外)は何人ですか。

2 集計結果

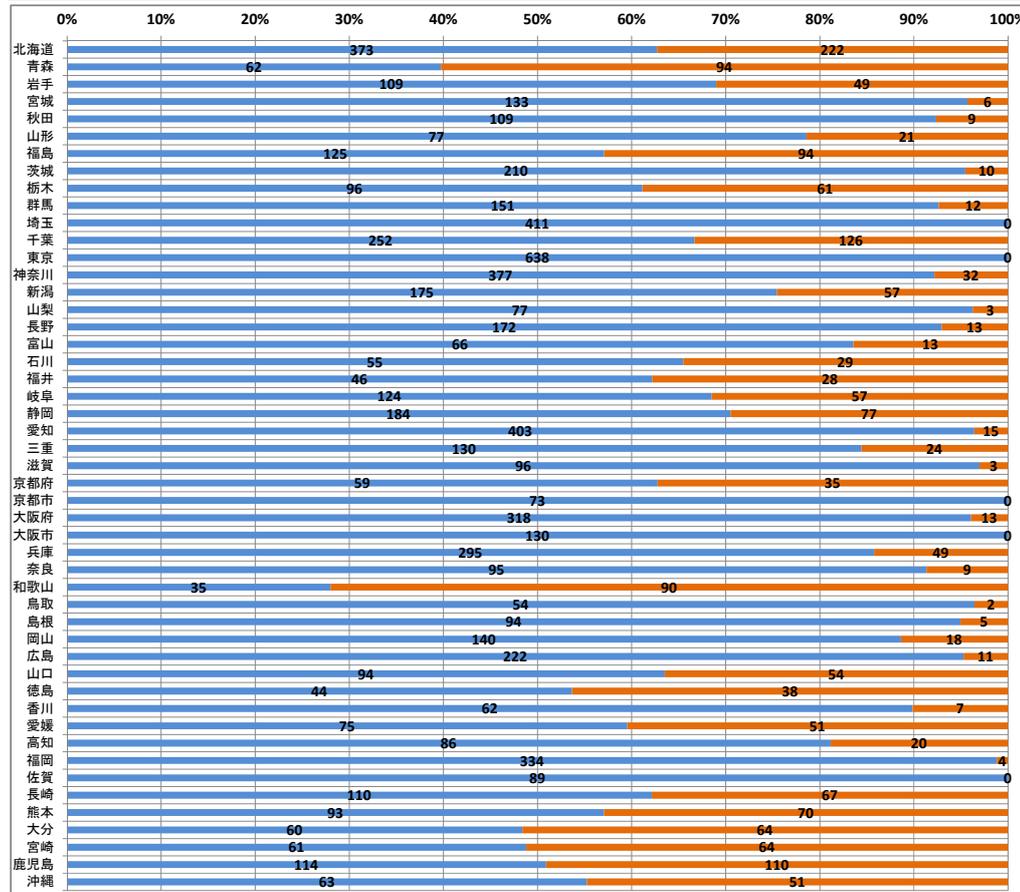
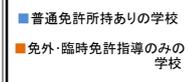
県内の公立中学校数	技術分野						家庭分野						技と家両方の免許を所持している教員	備考	
	① 授業担当者人数	② ①の内、技術の普通免許所持人数	③ ②の内、技術の正規採用教員	④ ③の内、技術の正規採用教員	⑤ 免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員	⑥ 免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員	① 授業担当者人数	② ①の内、家庭の普通免許所持人数	③ ②の内、家庭の正規採用教員	④ ③の内、家庭の正規採用教員	⑤ 免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員	⑥ 免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員			
1 北海道	595	454	260	222	194	93	148	447	217	173	230	97	222	47	
2 青森	156	171	102	92	69	27	71	177	74	61	103	36	94	5	
3 岩手	158	155	105	99	50	0	46	159	105	87	54	0	49	2	
4 宮城	139	208	160	147	48	18	8	225	176	118	49	18	6	11	
5 秋田	118	118	92	81	26	3	26	118	100	71	18	7	9	5	
6 山形	98	124	73	69	51	13	29	116	75	50	37	5	21	2	
7 福島	219	244	161	145	83	0	82	237	139	98	98	0	94	3	
8 茨城	220	225	225	218	0	0	0	235	218	159	17	7	10	12	
9 栃木	157	165	113	113	52	34	44	161	82	82	79	45	61	5	
10 群馬	163	165	160	129	5	5	7	168	154	96	14	8	12	7	
11 埼玉	411	411	411	337	0	0	0	411	411	340	0	0	0	0	
12 千葉	378	451	305	279	146	0	91	428	342	252	91	0	126	8	
13 東京	638	665	665	528	0	0	0	697	697	361	0	0	0	0	非常勤教員・講師が増加
14 神奈川	409	421	359	335	62	9	36	411	313	249	98	6	32	8	
15 新潟	232	251	187	160	64	21	62	243	185	144	57	12	57	0	兼務あり
16 山梨	80	84	79	54	5	3	2	85	79	53	6	3	3	0	
17 長野	185	189	174	141	15	2	10	192	177	128	11	3	13	2	
18 富山	79	85	75	67	10	10	10	85	72	60	13	13	13	6	
19 石川	84	87	48	42	39	8	29	88	43	40	45	12	29	10	
20 福井	74	88	54	53	34	0	22	87	48	44	39	0	28	4	
21 岐阜	181	206	132	124	74	3	57	207	129	90	78	23	57	1	
22 静岡	261	267	213	184	54	3	52	278	199	129	79	2	77		
23 愛知	418	508	450	407	58	20	23	492	460	283	32	16	15	5	
24 三重	154	175	117	111	55	30	33	167	125	73	38	20	24	1	
25 滋賀	99	110	108	92	2	2	2	107	104	86	3	3	3	0	
26 京都府	94	94	51	50	43	33	43	94	59	55	35	35	35	0	
27 京都市	73	79	76	66	3	3	0	80	79	66	1	0	0	0	兼務あり
28 大阪府	331	350	317	274	33	10	25	351	333	257	18	6	13	5	
29 大阪市	130	130	130	130	0	0	0	130	130	130	0	0	0	0	
30 兵庫	344	381	314	289	67	21	41	372	296	237	76	26	49	5	
31 奈良	104	114	84	66	30	25	24	108	97	58	10	16	9	4	
32 和歌山	125	180	45	45	135	30	82	169	37	29	132	26	90	0	
33 鳥取	56	62	57	55	5	3	4	58	57	47	1	1	2	0	兼務あり
34 島根	99	104	91	73	13	0	12	104	98	68	6	0	5	2	
35 岡山	158	172	150	129	22	15	15	179	156	104	23	14	18	0	
36 広島	233	269	257	188	12	14	18	280	276	153	4	4	11		
37 山口	148	165	109	101	56	1	56	161	107	80	54	9	54	5	
38 徳島	82	118	60	58	58	9	51	130	51	42	79	10	38	0	大規模校に3人配置等
39 香川	69	78	71	65	7	0	4	76	68	55	8	1	7	1	
40 愛媛	126	142	115	111	27	0	27	136	81	79	55	0	51	2	
41 高知	106	109	41	39	68	11	23	109	43	40	66	9	20	0	
42 福岡	338	341	274	229	65	62	14	342	307	220	39	39	4	16	
43 佐賀	89	89	87	72	2	1	2	89	89	63	0	0	0	2	
44 長崎	177	173	145	138	28	7	42	141	116	101	25	15	67	3	
45 熊本	163	171	134	118	37	1	37	165	94	70	71	4	70	6	
46 大分	124	126	68	59	67	67	69	127	67	56	60	60	64	0	
47 宮崎	125	151	59	51	89	25	66	157	61	43	96	44	64	4	
48 鹿児島	224	232	119	109	113	76	100	229	105	71	124	72	110	1	
49 沖縄	114	125	92	89	33	32	23	122	74	62	48	46	51	0	
合計	9338	9982	7774	6833	2209	750	1668	9930	7605	5513	2320	773	1887	200	
					22.1%	免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員	17.9%				23.4%	免許外・臨時免許の内、授業を担当している講師・臨時採用教員	19.0%		

「普通免許所持者による授業(免外を含む)」が行われている学校数と、「免外・臨時免許指導者のみによる授業」の学校数の割合



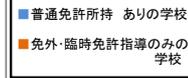
技術

<数値は学校数>



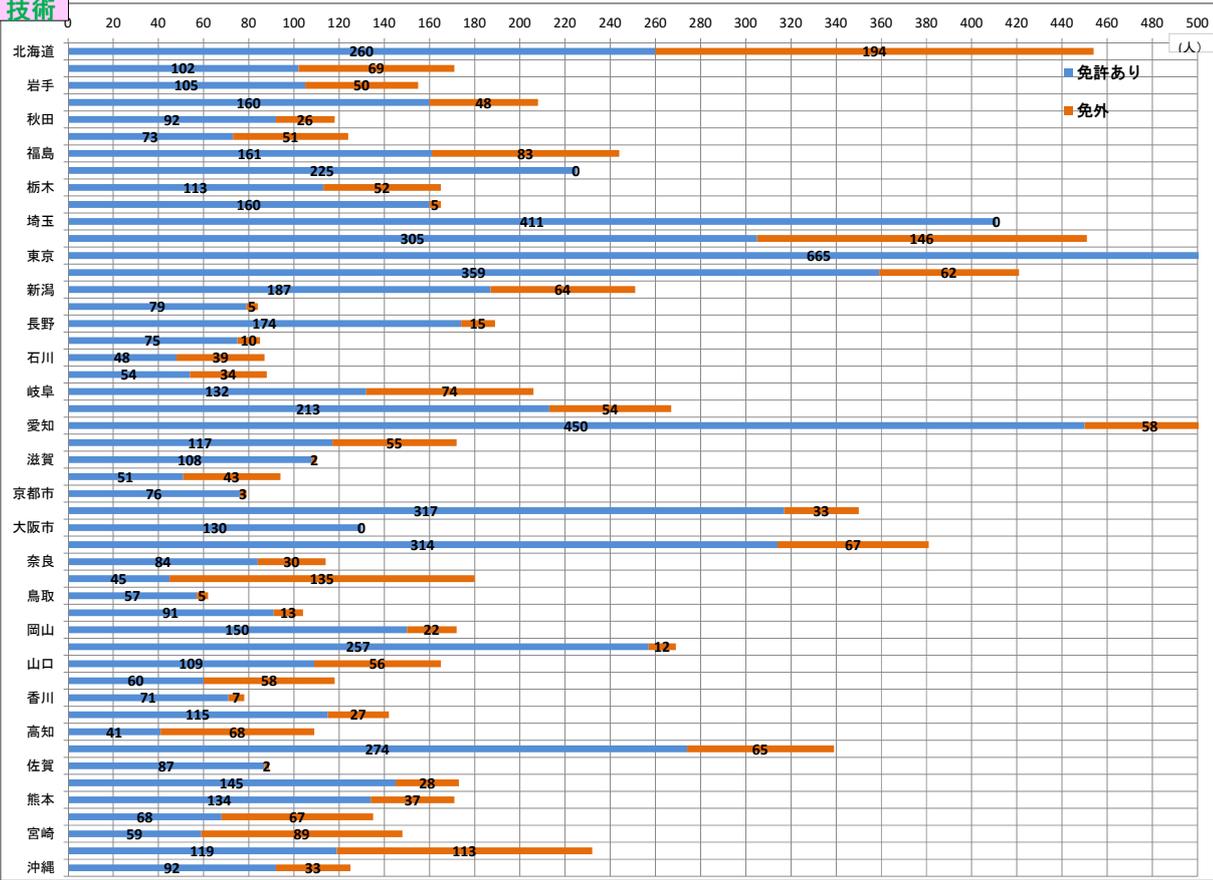
家庭

<数値は学校数>

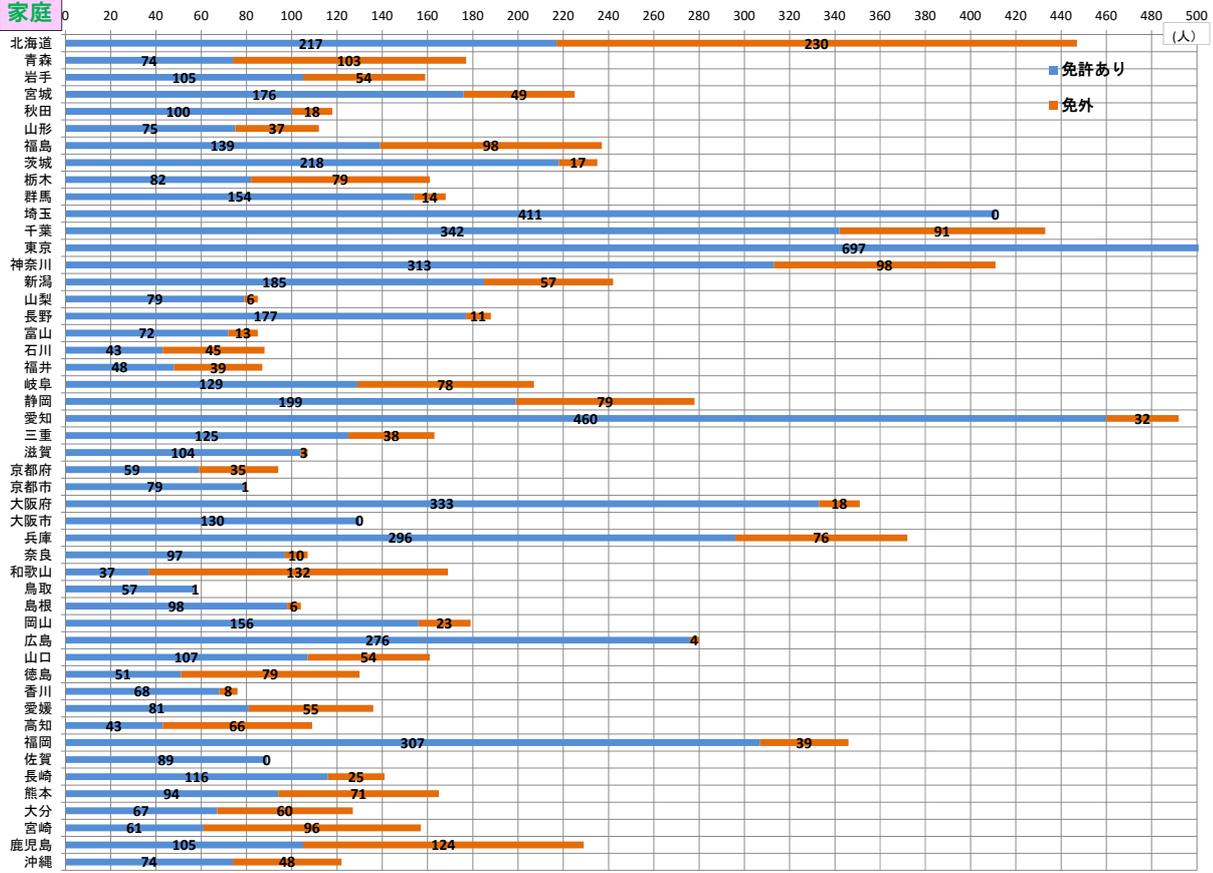


普通免許所持者人数 と 免外・臨時免許指導者

技術



家庭



参考 全日本中学校長会教育情報部 <中学校教育に関する調査結果 平成29年度>  
免許外による教科指導者数(平成29年5月1日現在)より

	学校数の 合計	免許外指導者数										
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	特別支援
1 北海道	595	3	4	7	0	0	4	3	8	27	0	0
2 青森	156	0	2	6	3	2	80	7	65	97	1	0
3 岩手	166	4	7	8	9	0	16	11	42	46	1	0
4 宮城	203	9	8	10	7	1	4	3	50	44	9	
5 秋田	114	0	0	0	0	0	10	0	28	20	0	0
6 山形	98	1	1	6	2	1	13	11	47	38	1	0
7 福島	221	0	0	0	0	0	47	2	83	106	0	24
8 茨城	220								1	22		
9 栃木	157	10	7	7	9	1	5	9	41	59	4	
10 群馬	162	1	2	0	1	0	7	2	8	12	0	0
11 埼玉	413	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 千葉	377	13	7	19	10	2	65	11	113	64	7	0
13 東京	625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 神奈川	415	1	3	10	2	1	2	5	89	64		18
15 新潟	237	19	15	18	25	14	15	25	17	12	14	0
16 山梨	83	6	3	5	5	0	3	6	10	12	5	
17 長野	184					1	3	1	14	15		
18 富山	80	5	0	0	1	0	5	5	20	20	0	0
19 石川	84		1			1	2	1	26	24		
20 福井	75	3	1	0	0	2	23	6	29	39	0	0
21 岐阜	179	9	17	47	9	0	10	58	70	71	13	0
22 静岡	264	32	35	34	14	2	37	31	56	89	7	0
23 愛知	418	6	12	11	2	0	11	0	73	53	4	
24 三重	154	0	0	4	1	1	9	4	29	27	2	0
25 滋賀	99							1	2	3		
26 京都府	95								25	18		
27 京都市	73								1	1		
28 大阪府	333	16	4	8	2	0	8	4	36	16	6	7
29 大阪市	131	4	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0
30 兵庫	344	10	3	9	2	1	45	4	80	106	1	
31 奈良	104					1	1		8			
32 和歌山	122	4	6	15	9	0	7	9	90	100	3	
33 鳥取	57	1						1	2			
34 島根	96						3		12	5		
35 岡山	155	0	0	0	0	0	1	0	5	2	0	0
36 広島	233	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	96
37 山口	145	1	2	1	1	1	24	3	48	52	0	0
38 徳島	83	12	12	10	8	4	24	21	46	67	6	0
39 香川	68	35	5	38	3	1	1	6	10	8	24	0
40 愛媛	127	0	1	1	0	1	22	3	28	49	0	0
41 高知	106	0	2	1	0	0	38	4	59	55	0	0
42 福岡	340	1	0	0	0	2	4	1	23	23		
43 佐賀	90								2			
44 長崎	174	0	8	5	2	2	14	4	28	25	0	7
45 熊本	164	2	3	1	2	0	32	3	36	71	0	0
46 大分	126	4	0	6	3	2	40	17	68	74	3	42
47 宮崎	126	14	6	20	6	1	15	8	45	39	0	
48 鹿児島	222	2	0	2	4	0	7	2	6	10	0	0
49 沖縄	149	33	33	65	83	15	56	20	46	48	29	3
合計	9442	261	211	376	225	60	713	313	1628	1735	140	197